

2009年8月25日

倉敷市長 伊東香織 様

日本共産党倉敷市議会議員団
団長 田辺 昭夫

新型インフルエンザ等に関する医療体制について
(緊急申し入れ)

市民のいのちと暮らしを守るために、日夜ご努力のことと存じます。

さて、平成21年8月19日、舛添厚生労働大臣が、新型インフルエンザの「本格的な流行」を宣言しました。名古屋市では、19日に国内3人目の死亡者が、22日には新型インフルエンザに感染した千葉縣市原市の小学2年の女兒(7)が重症化し、急性脳症にかかったとの報道がありました。また、集団感染が拡がり、すでに新学期が始まった北海道や東北の学校では休校や学級閉鎖が相次ぐなど、教育現場にも影響が広がり始めています。

新型インフルエンザが「本格的な流行」という新たな段階を迎え、その重症患者の発生に対応できる医療体制の整備は、緊急の課題となっています。

倉敷市においても市長を本部長に新型インフルエンザ対策本部を設置し、新型インフルエンザ対策の充実を図られていることと存じますが、新たな段階を迎え、以下の項目について対策の実施を緊急に申し入れるものです。

記

1. 感染状況について、市民や医療関係者に適切な情報提供や広報を行うこと。
2. 医療体制を緊急に強化すること。
3. ワクチンを安全に接種できるよう体制をすみやかに確立すること。
4. 予防や治療にかかる医療費の負担軽減を行うこと。特に18歳以下の子ども、基礎疾患を持つ人などを対象に、新型を含むインフルエンザの予防接種費用を一部助成する制度をつくること。
5. 国民健康保険証が取りあげられた世帯への保険証の発行と、低所得者層への負担軽減措置を講じること。

以上